

厚生労働省 令和元年度障害者芸術文化活動普及支援事業  
福祉現場におけるアートマネジメント研修

# ひっかかりをできるだけ つくろうとすると アートもでてくるよね というはなし

—祝福と新鮮さとケアと—

2020.2.25 火 10:00~16:30

参加費  
無料

**場所** 新潟青陵大学1号館アクティブ講義室  
1205-1206号室  
(新潟市中央区水道町1丁目5939番地)

**定員** 50名

**対象** 福祉事業者・職員、介護支援専門員、  
相談支援専門員、学生など  
障害のある方の表現活動に興味がある方  
研修会終了後に新潟駅付近で懇親会を実施する予定です(会費  
4,000円程度)。参加希望の方は、参加申し込みとあわせてご連絡  
ください。

[主催] ケアカフェ実行委員会  
東海・北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センター

福祉の仕事では連携だったりネットワークづくりが重要だと言われて  
います。なんで重要かというとそのつながりを使って、福祉的な課題を  
解決したり困っている方を見つけたり。何かひっかかるものを探すわけ  
です。そのひっかかるものを探そうとすればするほどクリエイティブな場  
面が見つかったり創れたり。今まで気づかなかったことに気づくこと  
ってアートだと思うんですよ。何気ないしぐさとか、いつの間にかできて  
いたモノとか。ケアを大事にした先のアートというか。その場面こそが  
一番忘れてはいけないマネジメントじゃないかと。今回は、昨年10月に  
開催した『上越アール・ブリュット公募展』という一つの場から現場や  
作家に起こったことを検証していきたいと思います。多くの方のご参加  
を心よりお待ちしております。

# ひっかかりをできるだけつくろうとすると アートもでてくるよね というはなし —祝福と新鮮さとケアと—

9:30 受付

10:05 オープニングトーク

## 上越アール・ブリュット公募展の概要

ケアカフェ実行委員会 今井 正人  
新潟県アール・ブリュット・サポート・センターNASC 坂野 健一郎

### 上越アール・ブリュット公募展

昨年度新潟県で開催された国民文化祭のプログラムとして実施。  
テーマは『ものと語り』。作品そのものだけでなく、その作品にまつわる  
様々な方の様々な語りを集めた展示会。  
100名、延べ2,000点の応募がありその中から選定委員会を通じて  
出展作品を決定した。

10:30

## パフォーマンスと語り

### なぜ表現するのか 台風、あしたの星☆、中止にはさせない。

パフォーマー YOHKOさん × 坂野 健一郎

新潟県内で数多くのステージに立つYOHKO氏。彼女が創作する独舞  
には、これまで歩んできた彼女の人生や譲れない思いが見え隠れして  
います。そんな彼女が発した「人間やめて健常者になるぐらいなら、か  
ぶり物かぶって動物になった方がマシ」。この真意を即興パフォーマンス  
にあわせて披露してもらいます。偽善が嫌いなんです。ホントに。

### あしたの星☆

パフォーマーの公開オーディション。  
ステージにあがって、誰かに自分の表現を伝えたい。そうした思いを  
もった方が、障害の有無に関わらず独自のステージを繰り広げる。  
昨年3回目の開催を予定していたが、台風により中止となる。

11:00

## 事例 祝福と新鮮さとケアと

新潟県アール・ブリュット・サポート・センターNASC  
アート・ディレクター 角地 智史

半ば強制的に実施することになった上越アール・ブリュット公募展。  
やってみたら幅の広い表現が寄せられました。それだけでなく、展示  
会会中にも起こった出来事がいろいろありました。展示会ってどん  
な場なんだろう。意外と新たに覚えてきたコトがありました。

12:00

## 休憩

13:00

## 事例 上原木呂さんとの出会い

アーティスト 上原 木呂さん × 今井 正人

今回の研修の企画に至ったきっかけは、上原木呂さんとの出会いに  
ありました。ケアマネージャーと利用者の関係にアートが入ることによ  
って起こった変化を何なのか。出会いから作品の出展、展示作品に  
選定されるまでの経緯を語ってもらいます。

13:30

## 事例 2時間話していて羨ましかったという話

南魚沼福祉会 大津 茜さん × 角地 智史

今回の公募展で、2名の作家を応募した大津さん。作家に向けられたまな  
ざしにはとても素敵なエピソードが盛り込まれていました。展示作品に選  
定され作家の調査に伺った時です。作家へのヒアリングの様子を見て、普  
段から作家と接している大津さんからある感情が生まれてきました。

14:00

## 講演 空間とアートを取り持つ役割

IDEKOデザイナー 小出 真吾さん

展示会において、作品一つひとつの魅力を発信する上で空間や展示方  
法は重要なファクターです。こじつけや過剰演出ではなく、作品を大事に。  
これまでのアール・ブリュット展において空間のレイアウトや展示什器の作  
成を担当した小出さんから、空間をつくりあげていくプロセスを語ってら  
います。

15:15

## 講演 当たり前を更新するー福祉がまちの文化にー

社会福祉法人ゆうゆう 大原 裕介さん

北海道当別町を拠点に、先進的な福祉実践に取り組む大原さん。障害  
のある方の創作活動の支援もいち早く取り組み、昨年は北海道岩見沢  
市で、岩見沢アール・ブリュット芸術祭2019を成功させました。今回は  
アート活動も含め、今後のゆうゆうの目指す方向をお聞きます。

大原裕介さん  
社会福祉法人ゆうゆう理事長



平成15年に北海道医療大学ボランティアセンターとして設立。学生によ  
る任意事業の障害児預かりサービスや0歳から96歳までの生活支援サ  
ービス等を3年間実施。卒業後、NPO法人当別町青少年活動センター  
ゆうゆう24（現在「社会福祉法人ゆうゆう」）を起業する。人口減少時  
代における、あらゆる住民がそれぞれの立場を超えた支え合いによっ  
て福祉の実践を構築する共生型事業や国内外のアールブリュット事業の  
発信、民間活力を活用した社会的事業の研究など社会に必要とされる  
様々な実践を創り続ける。北海道医療大学の客員教授として、福祉現  
場の魅力を伝え後進者を育成するほか、NPO法人全国地域生活支援  
ネットワーク代表理事として様々な政策の提言にも関わる。

16:30

## 終わりに『アール・ブリュット・クリエイション・東海・北陸ブロック』のアナウンス

## 交通アクセス

### ■バスをご利用の方

新潟駅万代口バスターミナルから  
・浜浦町線<新潟青陵大学前経由>  
水族館前ゆき  
バスで約20分、新潟青陵大学前下車。  
・浜浦町線<浜浦町経由>信濃町ゆき  
・浜浦町線<浜浦町経由>西部営業所ゆき  
バスで約20分、松波町1丁目下車、徒歩4分。

### ■JRをご利用の方

JR 越後線白山駅下車、徒歩15分。



新潟青陵大学1号館アクティブ講義室 1205-1206号室  
(新潟市中央区水道町1丁目5939番地)

## お申込み

QRコードでのお申込みもしくは、上記Eメールにて  
①ご氏名、②所属、③電話番号、④懇親会参加希望  
の有無を記載しご連絡ください。



## お問い合わせ

東海・北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センター  
TEL: 025-530-7264 FAX: 025-530-7261  
info@niigata-artbrut.net 【担当:坂野】